

令和3年度 学校関係者評価会議 議事録

日時：令和4年5月31日 16:00～16:30

場所：錦秀会看護専門学校（一部オンラインによる参加）

出席者1：（学校関係者評価委員）

中本 光信（地域住民、元公立中学校校長）

以下の出席者は、Web 会議システム「Zoom ミーティング」により参加

西本稔（錦秀会グループ総本部 管理局局長兼社会福祉法人帝塚山福社会 統括本部副責任者）

笹倉 清美（錦秀会グループ総本部 管理局看護部部長）

平野 清美（医療法人錦秀会 阪和住吉総合病院看護部部長）

欠席者：岸本真代（卒業生）、泷鎌祐子（卒業生）、玉城直江（卒業生）星名 照美（卒業生）

出席者2：錦秀会看護専門学校

山田 直子（副学校長）

田中 奈絵子（看護第1学科学科長）

神藤 めぐみ（看護第2学科学科長）

中田 恵美（准看護学科学科長）

奥田 ゆうこ（事務長）

司会：奥田 ゆうこ（事務長）

配布資料：

・令和3年度自己評価報告書（事前配布）

・評価議事内容

・学生アンケート（当日配布）

別添「自己点検・自己評価および学校関係者評価会議」参照

議題：令和3年度 自己点検・自己評価に対する学校関係者評価  
評価項目の内容を一通り説明。

外部出席者よりコメントをいただく。

○意見1

1. 「教育理念・目的・目標」について

→学生には浸透しているのに、教職員には共有が望ましいと言える。

2. 「学生の受け入れ」について

→評価は適正と考える。

3. 「学生生活への支援」について

→評価しづらい項目（ボランティアの支援体制・学生委員会活動の支援）もある中で、できていると思う。

4.「教育課程」について

→評価は適正と考える。

5.「教育活動・教育指導のあり方」について

→教育の工夫・研究（4）の項目の評価が他の項目に比べて低いのがやや気になる。

6.「実習指導体制」について

→評価は適正と考えるが、評価項目に若干ばらつきがある。

7.「研究・研修活動」について

→大項目の中で自己点検・自己評価において検討を進める項目となっているが、研修の充実に努めていただきたいと思う。

8.「組織管理・運営」について

→評価は適正と考える。

9.「施設設備」について

→評価は適正と考える。

10.「社会への貢献」について

→コロナ渦の中での社会への貢献については難しい状況があると思われる。

11.「予算」について

→評価は適正と考える。

12.「学校評価」について

→今後も活かされることを期待します。

## ○意見 2

オンライン授業等ハード面において、大学をはじめどの学校においても当然となっているため、操作など熟知していただいて、常に環境整備を整えていただきたい。

優秀な成績を修めるために、どのように学生と関わっていただくかが課題であるが、錦秀会では「底上げが大切である。」との先人からの教えがある。その言葉の通り、合格率UPを目指して頑張っていただきたい。

## ○意見 3

コロナの影響により他施設からの実習依頼が多くあり、実習調整の部分で負担を掛けたと思う。【7.研究・研修活動の 1) 教員の研究活動にある (98) 教員は臨床ナースと連携や交流を図り臨床看護研究に取り組んでいる。→できていない。】と、【8.組織運営・運営の 5) 会議への参加運営 (129) 講師会議は定期的に開催している→できていない。】とあり、アンケートを実施するとあるが、次年度からは連絡していただければ参加・対応させていただく。

山田副学校長より、学校のさらなる発展のため、本日の内容を次年度の評価へ落とし込み、今後の学校運営につなげていきたい。と述べられた。